

## 相模湾初記録のワモンダコ

今井 啓吾・山田 和彦

### Keigo Imai and Kazuhiko Yamada: First Record of a Common Reef Octopus, *Octopus cyanea* Gray, 1849 (Cephalopoda; Octopodidae) from Sagami Bay, Kanagawa Prefecture

**Abstract.** *Octopus cyanea* Gray, 1849 (Cephalopoda; Octopodidae) is widely distributed in shallow waters of subtropic and tropic regions of Indo-Pacific Ocean. In Japan, *O. cyanea* is recorded from Hachijo Island to Ogasawara Islands and from Shikoku to Ryukyus. No record about this octopus has ever been reported from Sagami Bay. We newly report three obvious records of this species from the bay depending on the specimen and the photographs. This is the northernmost records for this species in Japan.

#### はじめに

ワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849 (八腕形目マダコ科マダコ属) は、全長 1 m 以上に達するやや大型のタコで、インド・西太平洋の温暖浅海域に広く分布する(窪寺, 2000; Norman, 1998)。本種は第 2・3 腕間の腕膜上に暗紫色の眼状紋があること、腕側面に燐光を発する白点列があるなどの特徴を持つ。日本では八丈島から小笠原諸島および四国から琉球列島にかけて分布し、沖縄地方では水産上重要種として扱われている(奥谷ほか, 1987; 窪寺, 2000; 土屋, 2002)。相模湾からは、これまで 26 種の八腕形目が記録されているが(池田・倉持, 2010)、ワモンダコの記録はなかった(Gleadall & Salcedo-Vargus, 2004; 池田・倉持, 2010; Kubodera & Yamada, 2001; Sasaki, 1929)。

今回、相模湾北西部に位置する真鶴において生体が捕獲されたため、同湾内で撮影された写真記録と合わせて報告する。

#### 今回得られた標本

ワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849

#### A. 捕獲個体 (図 1-3, 表 1)

年月日: 2012 年 2 月 16 日

場所: 神奈川県真鶴町真鶴港沖防波堤水深 10 m

捕獲者: 志村洋一 (真鶴町漁協)

保管・資料番号: 神奈川県立生命の星・地球博物館軟体動物標本 KPM-NGL 000083.

捕獲状況: 水深約 10 m の場所で素潜り漁を行っていたところ、防波堤基礎または潜堤と思われる構造物の平らな部分に乗っていた本個体を発見し、捕獲した。

備考: 本個体は水産技術センター相模湾試験場に持ち込まれた後、翌日に新江ノ島水族館に寄贈された。展示水槽での飼育が試みられたが、本個体は摂餌することなく飼育開始から 22 日目の 3 月 9 日に死亡した。

計測方法など: 死亡確認後ただちに一部の形質を計測し、10% 海水ホルマリンで固定し保管した。固定後に標本を

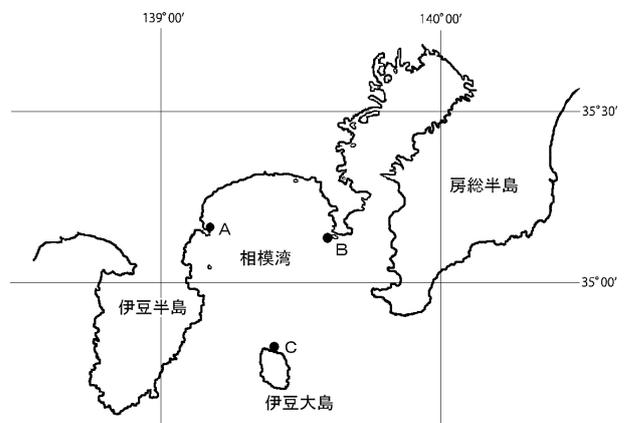


図 1. 相模湾におけるワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849 の確認地点。A: 神奈川県足柄下群真鶴町真鶴漁港 (標本), B: 神奈川県三浦市城ヶ島西方 (写真), C: 東京都大島町北方 (写真)。



図2. ワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849. 2012年2月17日, 生時の様子, 三縄和彦撮影.



図3. 死亡したワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849. 2012年3月9日, 崎山直夫撮影.

表1. ワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849 の計数・計測値

	死亡直後の計測値	ホルマリン固定後の計測値
外套長	100 mm	80 mm
全長	555 mm	540 mm
舌状片長	6 mm	4.6 mm (交接腕長の1.05%)
体重	950 g	
右第一腕長	—	335 mm
右第二腕長	—	302 mm
右第三腕長	—	437 mm
右第四腕長	—	435 mm
眼状紋径 (黒点)	—	25.4 mm
右第三腕 (交接腕) 吸盤数	—	左列 177 個 右列 180 個 合計 357 個

再度計測した上, 形態について観察を行った。固定後は若干の収縮が見られたので, 表1に固定前後の計数・計測値を合わせて記載した。計測にはメジャーを用い, 腕長はビニールひもをあてがった上で, ひもの長さを計測した。舌状片長と眼状紋径はノギス, 体重は台秤を使用した。

記録: ワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849 (図1-3, 表1)

本個体を精査したところ, 眼状紋の薄暗い黒点と取り囲む環との間が他の腕膜部分と同色であること, 背面に菱形状に4点と両眼上に1点ずつ乳頭状突起を持つこと (Norman, 1998), 外套膜開口は偏りがなく, 漏斗器が明らかなW字形を呈すること, 雄の右第3腕は交接腕で, 舌状片は短く交接腕長の1%強で, 円錐体はほとんど認め難いこと, 半鰓葉数は9であること (奥谷ほか, 1987) などの特徴から, マダコ科 Octopodidae のワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849 に同定された。

## 写真記録

### B. 撮影個体 (図1, 4)



図4. ワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849. 2003年9月11日, 神奈川県三浦市城ヶ島西方 (岩骨), 水深22 m, 工藤孝浩撮影.

年月日: 2003年11月28日

場所: 神奈川県三浦市城ヶ島岩骨水深22 m

撮影者: 工藤孝浩 (神奈川県水産技術センター)

### C. 撮影個体 (図1, 5)

年月日: 2003年9月11日



図5. ワモンダコ *Octopus cyanea* Gray, 1849. 2010年11月28日, 東京都大島町北方 (秋の浜) 水深8 m, 有馬啓人撮影.

場所：東京都大島町秋の浜水深 8 m  
撮影者：有馬啓人（伊豆大島ダイビングセンター）  
備考：時期不明であるが、本個体以外にも水深 8 m と 18 m で本種と思われる個体を目視確認した。

### 付 記

ワモンダコは熱帯性のタコであるが、近年、主にダイビングにより本州での観察記録が増えている。相模湾は湾口を南に広く開く開放的な湾で、夏から秋にかけては黒潮の影響も受ける。そのため、この時期には黒潮によって運ばれたと考えられる暖流性の魚類が多く観察されている（Senou *et al.*, 2006）。ワモンダコの相模湾での記録は偶発的なものと思われるが、上記のように黒潮が影響していることが考えられる。今後、相模湾での本種の増減に注意することで、相模湾の状況を把握する一助にもなると思われる。

### 謝 辞

本報告を作成するにあたり、生体を捕獲・寄贈下さった真鶴町漁協所属の志村洋一氏、快く写真の使用をご承諾くださり合わせて情報を提供いただいた神奈川県水産技術センターの工藤孝浩氏、大島ダイビングセンターの有馬啓人氏、生体を保管し当館へご連絡いただいた水産技術センター相模湾試験場の中川 研氏に厚くお礼申し上げます。また、報告の機会を与えていただいた新江ノ島水族館の堀由紀子館長、堀 一久氏はじめ展示飼育部の諸氏に感謝の意を表す。最後に、本稿を作成するにあたり、有益なコメントをいただいた匿名の査読者と編集

委員の皆様に厚くお礼申し上げます。

### 引 用 文 献

- Gleadall, G & S. V. M. Alejandro, 2004. Catalogue of the Cephalopoda specimens in the Zoology Department of Tokyo University Museum. *Interdisciplinary Sciences*, 10(2): 113-142.
- 池田 等・倉持卓司, 2010. 相模湾の貝類. 100 pp. 葉山しおさい博物館, 葉山.
- 窪寺恒己, 2000. 八腕形目. 奥谷喬司 編著, 日本近海産貝類図鑑. pp. 1075-1089, 東海大学出版会, 東京.
- Kubodera, T. & K. Yamada, 2001. Cephalopods found in the neritic waters along Miura Peninsula, Central Japan. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (37): 229-249.
- Norman, M. D., 1998. Octopodidae. pp. 800-820. Carpenter, K. E. & V. H. Niem (eds.), *In* FAO Species Identification Guide for Fishery Purposes. The Living Marine Resources of the Western Central Pacific. Volume 2. Cephalopods, Crustaceans, Holothurians and Sharks. 971 pp. FAO, Rome.
- 奥谷喬司・田川 勝・堀川博史, 1987. 日本陸棚周辺の頭足類. 194 pp. 日本水産資源保護協会, 東京.
- Sasaki, M., 1929. A monograph of the dibranchiate cephalopods of the Japanese and adjacent waters. *Journal of the College of Agriculture, Hokkaido Imperial University*, 20(suppl.): 1-357.
- Senou, H., K. Matsuura & G. Shinohara, 2006. Checklist of fishes in the Sagami Sea with zoogeographical comments on shallow water fishes occurring along the coastline under the influence of the Kuroshio current. *Memoirs of the National Science Museum, Tokyo*, (41): 389-542.
- 土屋光太郎・山本典暎・阿部秀樹, 2002. イカ・タコガイドブック. 139 pp. 図書印刷株式会社, 東京.

---

今井啓吾：新江ノ島水族館

山田和彦：相模湾海洋生物研究会